

しぜん がくしゅうかん トキと自然の学習館 だより 便り

H28.2.28
No.5



■2月28日(日)に、学習館自主事業「冬の海鳥観察会」を開催しました。

今回の自主事業は、「長岡市寺泊水族博物館」と「トキと自然の学習館」の二か所を会場に、寺泊海岸の厳しい冬の日本海に生息する海鳥の生態と、長岡市で飼育されているトキについて学習をしました。



元気に集合した参加者の皆さんと、穏やかな晴天に恵まれた水族博物館の屋外ペンギン広場から、海鳥の観察をしました。この日は、ウミネコ・オオセグロカモメ・セグロカモメ・ウミアイサ・ハマシギ・ウミウなどが観察できました。



望遠鏡(フィールドスコープ)を覗くと、一段と迫力のある海鳥の姿が!

*講師の先生から、観察のポイントを教えてくださいました。

●寺泊のカモメ類 どこがちがうの?



ウミネコ
体長44~48cm 留鳥
太いくちばし：黄色で先が黒と赤
背：青黒色、尾の先に黒帯がある
脚：黄色



オオセグロカモメ
体長55~67cm 冬鳥
太いくちばし：黄色で先に赤い斑点
背：濃い黒灰色 脚：ピンク



今年はいつもの年に比べ、カモメの数が少ないようです。暖冬などの、気象条件が影響しているのでしょうか?

水族博物館内の見学では、職員の方から様々な魚たちを楽しく紹介していただきました。直接タッチすることが出来る魚もいて、子供たちは大喜びでした。



その後、トキと自然の学習館に移動し研修室で、「海鳥の生態について」の講座を行いました。



海鳥について、種類や見分け方などの説明を皆さんはとても熱心に聞いていました。

お話の最後に、海鳥におこった悲劇として、トキと同じように乱獲などにより絶滅の危機にさらされた、アホウドリやオオウミガラスなどが紹介されました。

小学校低学年の子どもたちには、少し難しい内容だったかもしれませんが、トキだけでなく、たくさんの動物や植物が、現在も絶滅の危機にさらされていることを、皆さんに知っていただきたいと思えます。

最後に学習館の展示室を見学しました。トキの歴史や生態、長岡で飼育中のトキの近況などを説明しました。(大型モニターでは、トキのライブ映像や成長記録等を紹介しています。)



今回もたくさんの皆様にご参加いただきありがとうございました。

トキと自然の学習館では今後も、地域の自然や生き物とふれ合う行事を開催していく予定です。自然や環境について関心を持っていただく機会となれば幸いです。

NEWS

トキの繁殖シーズンが近づいてきました。長岡市トキ分散飼育センターでは、例年3月の下旬頃に産卵が始まります。今年も3組のペアが子育ての準備を始めています。今年初めて繁殖ペアになるBKペアもいますが、仲良く子育てを頑張りたいと思えます。



〈ALペア〉



〈BCペア〉



〈BKペア〉

だいぶ羽の色が黒くなって準備が進んでいる様子です。元気なヒナの誕生が楽しみです。長岡のトキの様子は、学習館の大型モニターで見いただくことができます。ぜひお越しください。

※長岡市トキ分散飼育センターのトキ飼育数 9羽
(H28.2.28現在)

次回の詳細は、学習館ホームページ・各広報紙等でお知らせいたします。

長岡市トキと自然の学習館
長岡市寺泊夏戸 2829 番地
TEL 0258-75-3201

